

ネットいじめ

Webサイトや電子メール、携帯電話などがいじめの手段として悪用されることがある。対面に比べて匿名性が高いため、加害者は安易に行動しやすく、また、被害者の表情や顔が見えないため、気持ちが悪く、また、被害者の表情や顔が見えないため、気持ちが悪く、また、被害者の表情や顔が見えないため、気持ちが悪く...

① デマ demagogy :

特定の利益のために流すでたらめな情報。ドイツ語のデマゴギー (demagogie) の略語。

オンラインコミュニティの課題

電子掲示板やブログ、SNSを利用することで、興味・関心の共通する仲間や友人といつでもコミュニケーションをとったり、新たな人間関係を構築したりできるようになった。いっぽう、オンラインコミュニティでとくに気をつけなければならない問題も発生している。

・情報の信憑性

実名を書かない無責任な書き込みやデマ<sup>①</sup>も多い。また、それがすぐに広まったり蓄積されたりする。



・誹謗中傷

顔が見えないコミュニケーションでは、表情から気持ちを察することができないために、一つの発言から相手への批判、侮辱など激しい応酬が続いてしまう(フレーミング<sup>②</sup>)。



・個人情報関連のトラブル

不用意に自分の情報を書き込むことで悪用されたり、他人に勝手に氏名や顔写真を公開されたりする。



・なりすまし

インターネット上で、そのユーザのふりをする。ほかのユーザには、なりすましているのかわかりにくい。



オンラインコミュニティに参加する責任

オンラインコミュニティのサービスには、ユーザの投稿、写真などの個人が発信した情報が大量に蓄積されていく。サービスを提供する企業は、プライバシーポリシー<sup>③</sup>を策定し、その安全な運用に努めている。オンラインコミュニティを使用するユーザは、プライバシーポリシーや利用規約<sup>④</sup>を理解した上で利用しなければならない。

参加するユーザー一人ひとりの発言、投稿の蓄積によってオンラインコミュニティの信頼性はつくられる。ユーザの意思により、望ましいコミュニケーションの文化やルールを生み出していくことが情報社会の発展には重要である。

③ プライバシーポリシー privacy policy :

個人情報保護基本方針。個人情報保護法に基づいて定められる。個人情報をどのように扱うのかが記してある。

④ 利用規約

サービス提供者が提示する、サービスを利用するにあたってのルールのこと。利用規約の中にプライバシーポリシーが書かれていることもある。

C O L U M N コラム

みんなでウォーキング

健康維持、管理を目的に、ウォーキングを行う人をよく見かけるが、一人で毎日歩き続けるのは難しい。「歩く」という目的をもった仲間どうしが、携帯日記とともに毎日の歩数をブログで発信し合う。その記録が自動的に収集され、四国八十八か所のお遍路地図上に反映されていく。そんなインターネット上のサービスが、「ユビキタス双六遍路」である。どこからでも参加でき、知らない人どうしがネットの地図上で出会い、お互いに励まし合ったり、更新されるペースか

ら体調を気づかたり、インターネットを使った新しいつながりの形が見えはじめています。



PRACTICE

実習 21

オンラインコミュニティによる共同作業

多数の参加者で役割分担をしながら作業を遂行する際、インターネットを利用したコミュニティサービスを利用することで効率的に進められることがある。グループで修学旅行のガイドブックを作成してみよう。また、それらコミュニティサービスを快適に活用するためのルールをつくろう。

- 1 環境の構築
2 役割分担の決定
3 計画を立てる
4 作業を進める
5 相互評価
6 統合する